



2019年4月

## 茶ポリフェノールの多機能生理作用

紅茶や緑茶などの茶には、ポリフェノールであるカテキン類が多く含まれています。茶における効能の主要な役割を担っているのは、ポリフェノールであり、このポリフェノールにはアレルギー緩和効果、生活習慣病予防効果など様々な生理作用が多く報告されています。

引用：茶ポリフェノールの多機能生理作用

[http://www.showa-u.ac.jp/sch/pharm/showa\\_jour\\_pharm/back\\_number/frdi8b000000ilk2-att/iwai.pdf](http://www.showa-u.ac.jp/sch/pharm/showa_jour_pharm/back_number/frdi8b000000ilk2-att/iwai.pdf)

アレルギー緩和効果を検証した臨床試験では、スギ花粉症の症状を持つ人を対象に茶カテキンのうちアレルギー緩和作用を持つと注目されているメチル化カテキンを含む緑茶を飲用した人と含まない緑茶を飲用した人とで鼻かみ回数や涙量、目のかゆみなどの項目の比較を行いました。

試験の結果、メチル化カテキンを含む緑茶を飲用した人は、含まない緑茶を飲用した人と比べると花粉飛散後の鼻かみ回数や目のかゆみといった項目において症状の軽減が認められました。

茶にはこのほかにも、がん抑制効果や生活習慣病予防効果、骨粗鬆症予防効果があると示されています。

オルトメディコでは様々なヒト試験の実施が可能です。  
お気軽にご相談ください。

試験一覧：<https://www.orthomedico.jp/clinical-trials/case.html>

引き続き皆様に満足いただけるような情報を提供させていただきますので  
今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

